



「インスピレーションになろう」 BE THE INSPIRATION

2018-19年度 RI会長／バリー・ラシン RI.D2590ガバナー／金子 大 横浜旭RC会長／市川 慎二

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NJTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



被災地の子ども達にXマスプレゼント



チャリティーコンサート



ガールスカウトとクリーン作戦

2019年3月27日 第2376回例会 VOL. 50 No. 35

- 司 会 SAA 内田 敏
- 開会点鐘 会長 市川 慎二
- 斉 唱 それでこそロータリー
- 出席報告

会員数	30名	本日の出席数	27名
本日の出席率	92.59%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

宋、須藤

■他クラブ出席者

増田、宋（横浜南陵RC）、新川（地区）

■ゲスト

川村 滋様（横浜市消防局旭消防署長）

猪野 貴行様、小川 祐也様（同予防課）

■雑祭り祝い



二宮麻理子会員

■会長報告

皆様、こんにちは。3月も下旬となり、卒

業シーズンとなりました。各小学校からは、卒業生の写真などが掲載された手紙が、一斉に送られてきます。そこには、大体、将来になりたい職業、将来の夢が一緒に書かれています。最近の人気として、男の子は、サッカー選手、野球選手、医師、ゲーム制作、ユーチューバー、女の子は、看護師、パティシエ、医師、保育士、デザイナーが上位を占めています。職業を志すきっかけには、大好きであったり、楽しい、あこがれ、儲かる、喜んでもらえた、親の背中を見て、後継ぎなど、人それぞれにあると思います。

先日、現役引退したイチローは「一つひとつの積み重ねでしか、自分を上げていけない」と言っていました。薄い新聞紙も、25回折ることができれば、富士山の高さになるといいますが、実際には折ることができません。薄紙を一枚一枚、積み重ねるような努力をして、日本一の富士山のような記録と、活躍を生み続け、数えきれないほどの感動と夢を与えてくれました。まさに“努力に勝る天才なし”の言葉通りの、日本のトップアスリートの引退に感動するとともに、子ども達にも一生懸命努力して、将来の夢を叶えてほしいと思います。

○地区関係

1) 3月28日、新横浜国際ホテルにて、第5月回会長幹事会が開催されます。取り上げて

ほしい議案があれば、お知らせください。

○クラブ関係

1) 4月13日(土)ガールスカウトとの清掃活動を行います。ぜひ、多くの会員のご参加をお願い致します。

2) 4月24日(水)第2回目の体験例会を、二俣川ライフで開催致します。

広報も兼ねて、多くの方へのお誘いお知らせをお願い致します。

■相鉄・JR 相直羽沢工事現場見学の報告

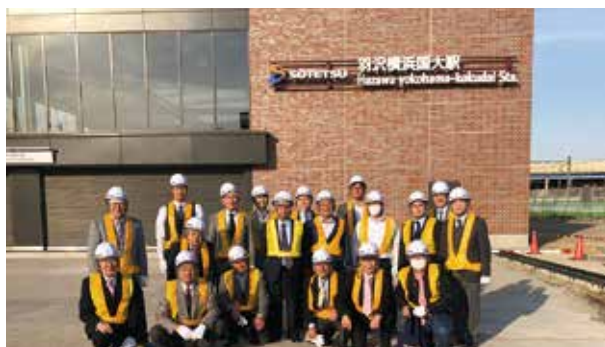
職業奉仕委員長 大川 伸一

職業奉仕委員会活動の事業所訪問として、平成31年3月20日、例会終了後に標題の現場を視察して参りました。当クラブから16名、瀬谷RCから3名の参加者がありました。

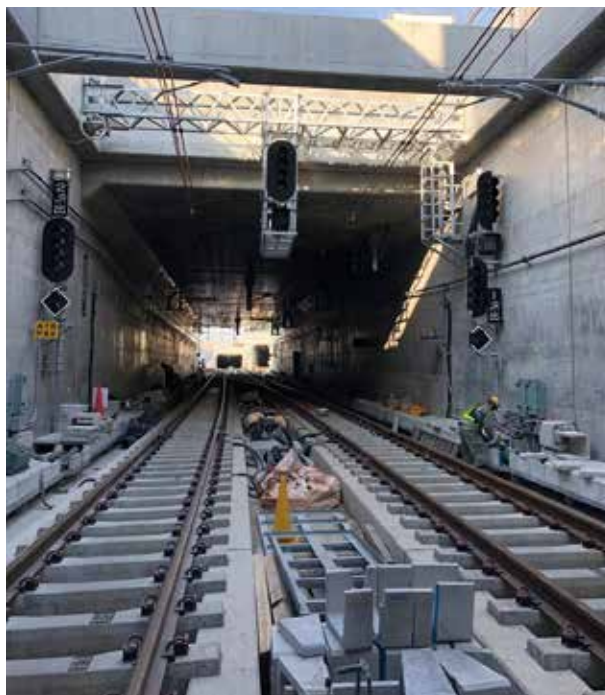
当日は例会終了後に横浜駅西口の相鉄本社に集合し、まず会社の方からこの事業全体の説明を受けました。JRとの乗り入れは完成間近で今年の暮れには開始予定であり、二俣川から新宿まではJR貨物線、横須賀線を通して約44分になるとのこと、さらに東横線との乗り入れは3年後の予定で、二俣川から新横浜、日吉を経由して目黒まで約38分とのことでした。ちなみに新横浜までは10分を切るようですので、新幹線を利用するにはとても便利になります。

相鉄本社から羽沢の現場までは相鉄様が移動のバスを用意してくださいました。ほぼ建屋が完成している羽沢横浜国大駅に到着後、駅の中に入りました。工事は鉄道・運輸機構が担っているため、同機構の方が大変詳細に説明してくださいました。真新しい銅線の電線や鉄道レール・道路兼用のトラックなどを見た後、ホームから線路に降り、新横浜方向を見るとJR方面用と東横方面(日吉行き)用の二つのトンネルが並んでいるのを確認出来ました。東横線の乗り入れまで完成すると二俣川からの都心へのアクセスもかなり便利になり、人口も増えて活発になるのでしょうか?期待が膨らみます。などと考えているうちに見学も終わり、バスで二俣川駅まで送っていただき解散となりました。

相鉄様には大変親切にしてください、また倉本さんにはこの見学の実現に御尽力いただき、心より感謝いたします。



写真上：駅舎前で 下：羽沢駅線路から新横浜方面



■情報集会報告

○Aグループ 田川

メンバー

倉本、斎藤、関口、滝沢、安藤、矢田、目黒、

3月20日日例会前に集合して頂きましたが、急ぎの連絡のため4名での集会となり、他のメンバーには申し訳ありませんでした。

①体験例会で会員増強を成功させよう

②増強できない理由を考えよう

集会では2つのテーマを同時に考えました。増強については一般の方のなかには奉仕活動に関心をもっている方も多いと思います。ただどうすれば自分に合った奉仕活動があるのか判らない方がほとんどだと思います。そんな時に体験例会に出席して、奉仕したかった奉仕活動が見つかり当クラブへ入会という、増強につながる事が大切だと思います。現実的には、体験例会だけでは入会につながらない点もありますが、その後において再度の打

診などのバックフォローが必要ではないかとの意見もありました。

○Dグループ

集会出席者（敬称略）

兵藤、新川、佐藤利明、柳沢、大川

①について

前回の体験例会から考えること

雰囲気固い→

自己紹介に時間をとりすぎないこと、
簡単にする

懇親会でもっと楽しい少し砕けた話を
胸に名札→大きい字でみやすく

懇親会の戦略→余興を取り入れたら

体験例会後のpushが足りない

入会後の評判

出席の厳しさを→100%でなくとも良い

e-clubなどに学ぶ

②について

増強できない理由について

会場～広さ、階段（バリアフリー）

会費と関連するため検討は継続

会費～寄付、ニコニコについての意見

これも会費に入れる、会社勤務の立場からは助かる。月払いの考慮オプションの用意

活動内容～親睦にカラオケを

会長の任期を複数年とすると、改革をおこな
いやすいのでは

・クラブのビジョン

会員増強のためには改革が必要、改革を实践
していくために成すべき事を考える

組織体制、今回のCLPの実践会長任期

・クラブの課題

会員増強が出来ない現状が最大の課題！

■ニコニコBOX（会員敬称略）

市川 慎二／旭消防署長川村様、猪野様、小
川様、本日はお忙しい中お越し下さり、あり
がとうございます。卓話よろしくお願
い致します。

安藤 公一／①川村署長様、猪野係長様、小
川様、ご多忙中にも関わらずようこそお出で
いただきました。本日の卓話宜しくお願
い致します。②先週の羽沢横浜国大駅の見学は貴
重な体験となりました。ご手配頂きました大
川職業奉仕委員長、倉本さん、ありがとうご
ざいました。

目黒 恵一／旭消防署長川村様、猪野様、小
川様、本日はお忙しい中、卓話いただき有り
難うございます。二俣川商店会、これからも
宜しくお願いします。

田川 富男／情報集会Aグループ発表させて
頂きありがとうございました。

兵藤 哲夫／①川村旭消防署長をお迎えして。
②昨日フジテレビ犬虐待問題でコメントをしま
した。さすが全国放送！影響は大きいですね。

倉本 宏昭／①旭消防署川村署長、本日はお
忙しい処、有り難うございます。②大川会員、
先週の羽沢トンネル見学会では大変お疲れ様
でした。

関口 友宏／①旭消防署の皆さん、ようこそ。
②倉本さん、大川さん、相鉄新線見学会お世
話様でした。

太田 勝典／旭消防署長、川村様卓話楽し
みにしております。

内田 敏／川村様、本日の卓話宜しくお願
い致します。

二宮 登／旭消防署長、川村様ようこそい
らっしゃいました。

北澤 正浩／旭消防署長川村様、猪野様、小
川様、ようこそいらっしゃいました。卓話宜
しくお願
い致します。

大川 伸一／旭消防署長の川村様、当例会に
お越しいただきまして有難うございます。本
日の卓話を宜しくお願
いいたします。

斎藤 善孝／川村様、本日の卓話宜しくお願
いします。私も20年間旭消防団に在籍し、区
の操法大会に指揮者として2回出場しました。

佐藤 真吾／①旭消防署より川村署長、猪野
様、小川様、本日はお忙しい所、当クラブに
お越し下さり有り難うございます。②4/24体
験例会、多くの参加者をお待ちしております。

佐藤 利明／旭消防署川村署長様、ご公務ご
多忙のところ、本日の卓話お受け頂き有難
うございます。又、予防課猪野様、小川様ご随
行ご苦労様です。

五十嵐 正／旭消防署長、川村さんを始め猪
野さん、小川さん、本日の卓話宜しくお願
い
します。

吉原 則光／川村消防署長様、公事でご多
忙のところ卓話いただき有り難うございま
す。有益なお話を拝聴させていただきます。よ
ろしくお願
い
します。

二宮麻理子／雛祭りのお祝いをいただき有り難うございます。

太田 幸治／①川村消防署長様、卓話楽しみに聞かせていただきます。②横綱白鵬、全勝で42回目の優勝、貴景勝の大関昇進を祝って。
■卓話「火災と救急の実態」 川村 滋



○自己紹介

昭和39年生まれ。旭消防署25代目署長に2018年4月着任。旭区勤務は2002年から約4年間務めた。市沢消防出張所以来2度目。前任は本局総務部企画課長。ラグビーワールドカップ2019などの市内開催を支援する部署担当。

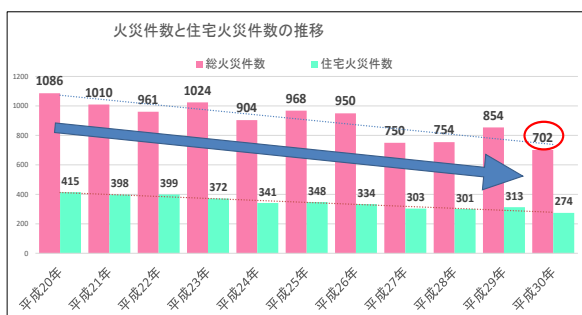
学生時代にアルバイトしていたライフセービングでの経験が消防士を志すきっかけに。消防士と関わる中で命の尊さを知った。

努力に勝るものはないがモットー。ただ努力するのではなく、方向を見定め高い目標のためには何が必要かを考えなければと。高齢化や災害などで今後はさらに救急需要も増えていく。向かうべき地点を見据え、積み上げてきた経験を生かしていく。

平成30年中の市内の火災発生状況

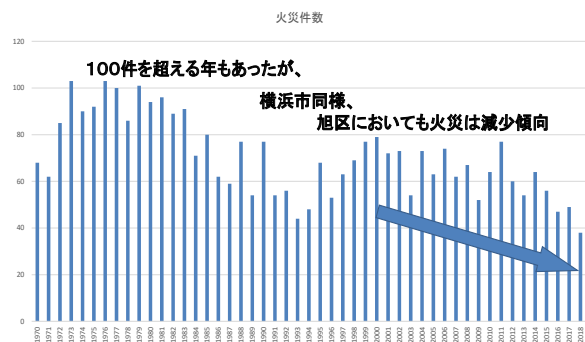
■平成30年中の火災件数：702件

近年、火災は減少傾向にあり、前年比152件(▲17.7%)の減少
 10年前のH20年と比べると、384件(▲35.3%)の減少



旭区火災発生件数の推移

▶ H30年の火災件数は**38件**で、区誕生以来**過去最少**の件数



過去10年間における火災原因の推移

原因分類名	H19年	H29年(A)	10年平均(B)	(A)-(B)
放火	293	266	281	△ 15
たばこ	153	122	127	△ 5
こんろ	148	75	112	△ 37
電気機器 電気配線	52	73	42	31
ストーブ	19	30	27	3
火あそび	62	16	37	△ 21
総計	1077	854	948	△ 94

電気火災の予防対策

- ・ **たこ足配線はしない**
許容量を超えるとコンセント自体が過熱し出火
- ・ **差し込みプラグのホコリは取り除く**
長い間コンセントを差し込んだ状態でホコリが溜まり出火
- ・ **電源コードの上に重い物を乗せたり、束ねたりしない**
コードの一部分に負荷がかかり、断線して出火



ストーブ火災の特性

- ・ 発生のピークは**1～2月**
- ・ 29年のストーブ火災は30件(死者7人)
30件中23件(約77%)が**電気ストーブ火災**
- ・ 着火物は、**ふとん、座布団、寝具、衣類**
- ・ 電気ストーブは廉価で、持ち運び易く、使い勝手が良い
- ・ 炎が見えないため**危険性を感じにくい?**
- ・ 電気ストーブの前面10cm以内は**表面温度200℃**にもなる

■ストーブ火災の予防対策



- 周囲に燃えやすい物(布団・衣類等)を置かない
- 近くを離れる時は、スイッチを切る
- 灯油ストーブの給油時は、火を消してから行う
- 周囲にスプレー缶を置かない



住宅火災における焼死者発生状況



■住宅火災による死者

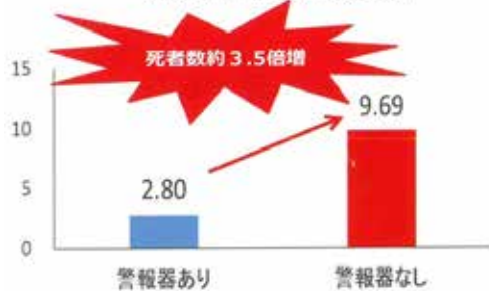
- H29火災による死者は**23人**
そのうち、17人(放火自殺を除く)は住宅火災での死者
- 住宅火災の死者のうち6人は、**たばこ**が原因の火災
- 住宅火災での死者(17人)のうち、65歳以上の高齢者は12人(70.6%)で、そのうち75歳以上は9人
- 住宅用火災警報器が設置されていなかった住宅火災での死者は8人(47.1%)



住宅用火災警報器の有効性



横浜市内の住宅火災100件当たりの死者数
(平成27年中の火災件数で推計)



住宅用火災警報器



■全住宅に設置義務化

新築住宅はH18年～ 既存住宅はH23年～

■設置場所

寝室、階段、台所

■住宅用火災警報器一斉点検の日

11月3日、3月1日

■住宅用火災警報器の交換

電子部品の寿命や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあるため、設置後10年を目安に取り替えましょう。



区内における最近の火災事例



■着衣着火

平成31年1月〇日22時頃、やかんでお湯を沸かしていたところ、コンロの火が衣類に燃え移り79歳女性が全身に火傷(重症)を負ったもの



わずか11秒で袖口から肩へ炎が上がった
出典:NITE製品安全センター

着衣着火防止のポイント



- 袖が広がっている服を着て調理する場合は、炎に接しないように注意する
- コンロの奥に調味料を置かない
- コンロの周りは、整理整頓する
- 鍋底から炎がはみ出ないように火力を調整



救急出場の状況



• **H30年の救急出場件数は、20万件を突破!**
前年比1万件の増加 2分35秒に1回出場

• **9年連続で過去最多を記録!**

■災害級の猛暑

一日当たりの救急出場件数は、過去最多の813件を記録(7月23日)



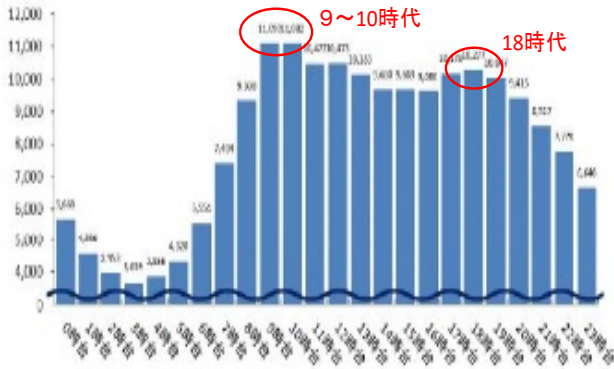
■救急種別別の出場件数



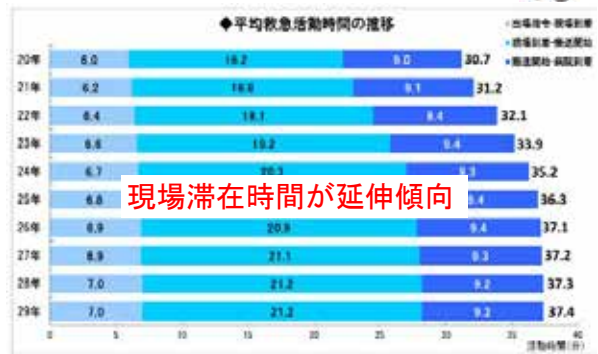
時間別の救急出場件数



- 9～10時代が最も多い
- 18時代に再び増加する



傷病程度別の搬送人員

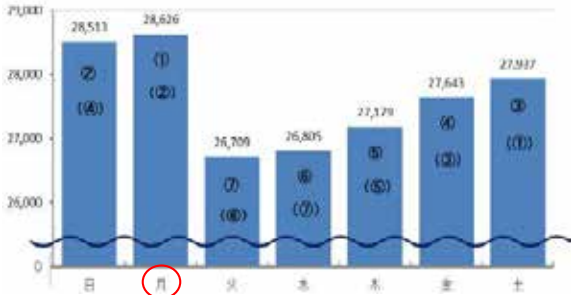


現場滞在時間が延伸傾向

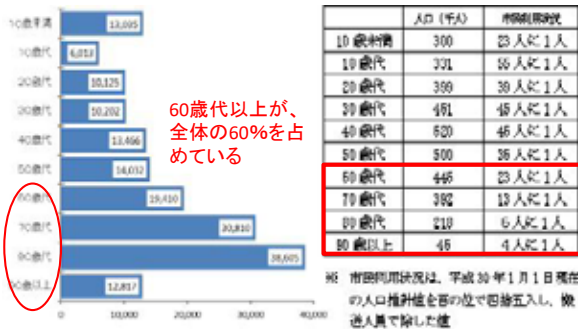
曜日別の救急出場件数



- 週の半ばから出場件数が多くなり始める
- 月曜日が最も多く、火曜日が最も少ない



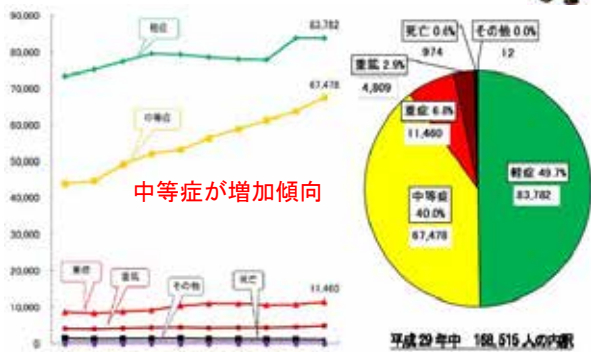
年代別の救急搬送人員



年齢	人口(千人)	平均年齢
10歳未満	300	25人に1人
10歳代	321	56人に1人
20歳代	390	38人に1人
30歳代	481	48人に1人
40歳代	520	46人に1人
50歳代	500	36人に1人
60歳代	445	25人に1人
70歳代	382	19人に1人
80歳代	219	6人に1人
90歳以上	45	4人に1人

※市町村別推定は、平成30年1月1日現在の人口推計値を基の位で四捨五入し、搬送人員で除した値

傷病程度別の搬送人員



中等症が増加傾向

ケガの予防



■今後、救急出場は急病と一般負傷が増加していく

■ケガによる救急搬送の原因の8割は、転倒・転落

■ケガする場所の半数は家の中で、約2割が道路上

家の中では、①部屋、②階段、③浴室、④廊下の順

ケガの予防対策



転倒防止

部屋の中を明るくする

手摺をつけ、スリッパ等は滑りにくいものを履く

洗濯物やビニール袋などを床に放置しない

コードやタンスの引き出しの出っ放しに注意

転落防止

椅子などバランスを崩し易い物の上に乗らない

お酒の飲み過ぎに注意



救急車を要請した時のポイント



準備しておくこと

・保険証、診察券、お金(帰りのタクシー代など)

・普段飲んでいる薬(お薬手帳)

・鍵(戸締り) ・靴など身支度



救急隊に伝えること

・事故や具合が悪くなった状況など

・持病、かかりつけの病院

次週の卓話

4/10(水) 兵藤 哲夫会員 職業卓話

週報担当 関口 友宏